

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第54期（決算日 2017年1月13日）

第55期（決算日 2017年2月13日）

第56期（決算日 2017年3月13日）

第57期（決算日 2017年4月13日）

第58期（決算日 2017年5月15日）

第59期（決算日 2017年6月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型）」は、このたび、第59期の決算を行ないました。

ここに、第54期～第59期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>

<5734>

為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
30期末(2015年1月13日)	9,102	80	1.4	15,736	6.7	0.0	99.2	18,400
31期末(2015年2月13日)	9,047	80	0.3	15,969	1.5	0.0	99.2	18,093
32期末(2015年3月13日)	8,774	80	△2.1	15,496	△3.0	0.0	98.9	17,341
33期末(2015年4月13日)	8,800	80	1.2	15,833	2.2	0.0	98.9	17,084
34期末(2015年5月13日)	8,388	80	△3.8	15,206	△4.0	0.0	98.8	16,180
35期末(2015年6月15日)	8,159	80	△1.8	14,898	△2.0	0.0	99.0	15,576
36期末(2015年7月13日)	8,115	80	0.4	14,941	0.3	0.0	99.3	15,149
37期末(2015年8月13日)	8,114	80	1.0	15,266	2.2	0.0	99.0	14,844
38期末(2015年9月14日)	7,681	80	△4.4	14,294	△6.4	0.0	99.0	13,785
39期末(2015年10月13日)	7,954	80	4.6	15,319	7.2	0.0	99.3	13,922
40期末(2015年11月13日)	7,816	80	△0.7	15,046	△1.8	0.0	99.0	13,391
41期末(2015年12月14日)	7,753	80	0.2	15,064	0.1	0.0	99.2	12,992
42期末(2016年1月13日)	7,693	80	0.3	15,057	△0.0	0.0	99.0	12,722
43期末(2016年2月15日)	7,395	80	△2.8	14,350	△4.7	0.0	98.9	11,904
44期末(2016年3月14日)	7,790	80	6.4	15,893	10.8	0.0	99.0	12,333
45期末(2016年4月13日)	7,846	80	1.7	16,434	3.4	0.0	98.8	12,147
46期末(2016年5月13日)	7,839	80	0.9	16,715	1.7	0.0	99.3	11,836
47期末(2016年6月13日)	7,784	80	0.3	16,683	△0.2	0.0	99.3	11,264
48期末(2016年7月13日)	7,867	80	2.1	17,579	5.4	0.0	99.1	11,105
49期末(2016年8月15日)	7,799	80	0.2	17,653	0.4	0.0	98.9	10,858
50期末(2016年9月13日)	7,534	80	△2.4	17,080	△3.3	0.0	98.9	10,481
51期末(2016年10月13日)	7,272	80	△2.4	16,434	△3.8	0.0	99.0	9,865
52期末(2016年11月14日)	6,811	80	△5.2	15,667	△4.7	0.0	99.0	9,135
53期末(2016年12月13日)	7,039	80	4.5	16,519	5.4	0.0	98.2	9,222
54期末(2017年1月13日)	7,021	80	0.9	16,743	1.4	0.0	98.8	9,250
55期末(2017年2月13日)	6,994	80	0.8	16,895	0.9	0.0	98.5	9,194
56期末(2017年3月13日)	6,811	80	△1.5	16,375	△3.1	0.0	99.5	8,968
57期末(2017年4月13日)	6,952	80	3.2	17,245	5.3	0.0	98.4	9,084
58期末(2017年5月15日)	6,774	80	△1.4	16,832	△2.4	0.0	98.3	8,511
59期末(2017年6月13日)	6,797	80	1.5	17,264	2.6	0.0	99.0	8,584

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

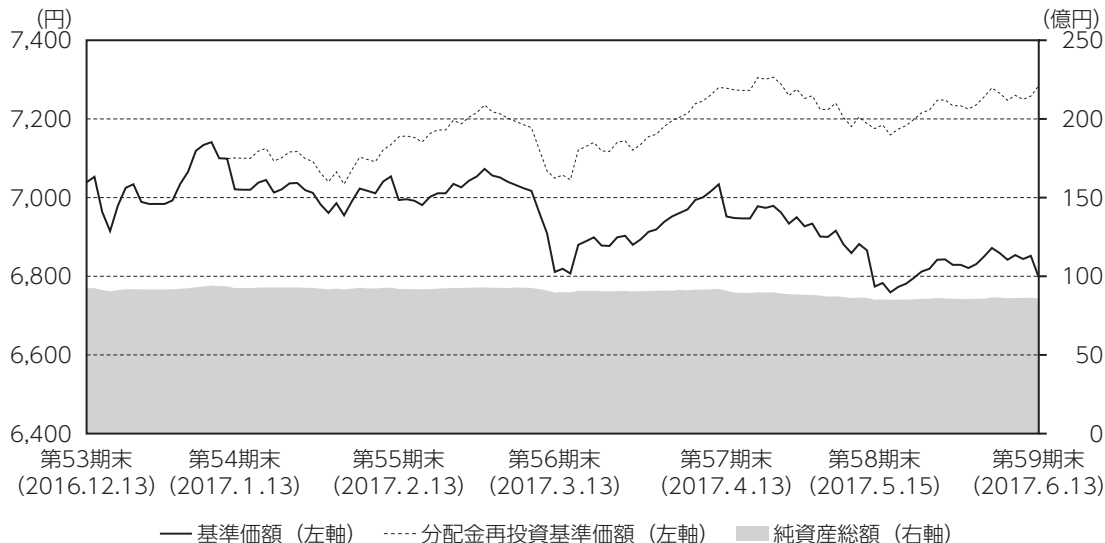
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第54期首：7,039円

第59期末：6,797円 (既払分配金480円)

騰落率：3.5% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス) (以下「リートα・ファンド (円ヘッジクラス)」) といいます。) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第54期	(期首) 2016年12月13日	円 7,039	% -	16,519	% -	% 0.0	% 98.2
	12月末	7,035	△0.1	16,589	0.4	-	98.3
	(期末) 2017年 1 月13日	7,101	0.9	16,743	1.4	0.0	98.8
第55期	(期首) 2017年 1 月13日	7,021	-	16,743	-	0.0	98.8
	1 月末	6,961	△0.9	16,529	△1.3	0.0	98.8
	(期末) 2017年 2 月13日	7,074	0.8	16,895	0.9	0.0	98.5
第56期	(期首) 2017年 2 月13日	6,994	-	16,895	-	0.0	98.5
	2 月末	7,073	1.1	17,242	2.1	0.0	97.4
	(期末) 2017年 3 月13日	6,891	△1.5	16,375	△3.1	0.0	99.5
第57期	(期首) 2017年 3 月13日	6,811	-	16,375	-	0.0	99.5
	3 月末	6,919	1.6	16,793	2.6	-	98.6
	(期末) 2017年 4 月13日	7,032	3.2	17,245	5.3	0.0	98.4
第58期	(期首) 2017年 4 月13日	6,952	-	17,245	-	0.0	98.4
	4 月末	6,934	△0.3	17,135	△0.6	0.0	99.7
	(期末) 2017年 5 月15日	6,854	△1.4	16,832	△2.4	0.0	98.3
第59期	(期首) 2017年 5 月15日	6,774	-	16,832	-	0.0	98.3
	5 月末	6,821	0.7	16,920	0.5	0.0	98.6
	(期末) 2017年 6 月13日	6,877	1.5	17,264	2.6	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016.12.14~2017.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。当作成期間の前半は、良好な米国経済指標や緩和的な金融政策の恩恵などが好材料となり、リート市況は上昇基調で推移しました。当作成期間の中ごろは、トランプ政権による政策への懸念や欧州での政治リスクの高まりなどから上値が重い展開になりましたが、後半に入ると、米国で債券利回りが低下したことなどが支援材料となり、再び上昇に転じました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、香港 (15.8%)、シンガポール (12.3%)、英国 (10.3%) などが上位だった一方で、日本 (△1.0%) などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、特殊用途施設、産業施設、ヘルスケアや住宅などが堅調だった一方で、商業施設、貸倉庫などは低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。一方、FRB (米国連邦準備制度理事会) は、政策金利の誘導目標レンジを2016年12月および2017年3月にそれぞれ0.25%ポイントずつ引き上げ、0.75~1.00%としました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

米国では新政権による景気刺激策への期待に市場の関心が集まり、米国金利が大幅に上昇しています。一方で、各国の国債利回りと比較してリーートの配当利回りは依然として魅力的であり、金利高が当面のリートに与えるネガティブな影響については限定的なものになるとみています。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、ユーロ圏の経済の下振れリスクなどを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基つき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016.12.14~2017.6.13)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別でみると、堅調なファンダメンタルズおよび魅力的なバリュエーションから産業施設やオフィスをオーバーウエートとしました。国別で見ると、シンガポール、オーストラリア、カナダをオーバーウエートで推移させましたが、日本、フランスをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第54期首は92.2%、第59期末は90.2%でした。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

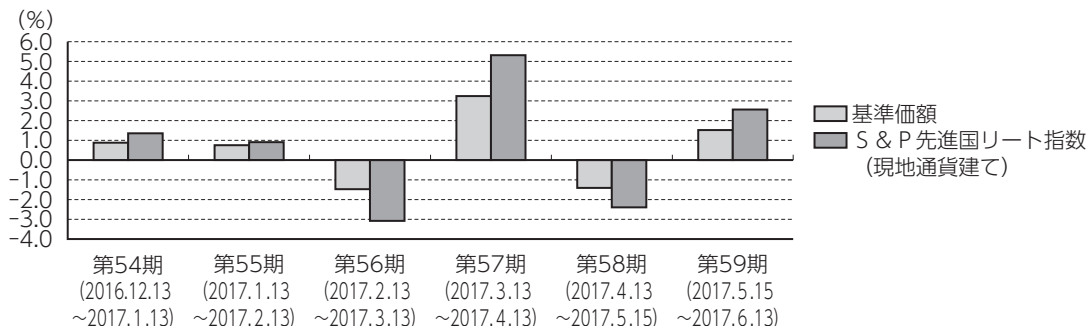
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第54期から第59期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年12月14日 ～2017年1月13日	2017年1月14日 ～2017年2月13日	2017年2月14日 ～2017年3月13日	2017年3月14日 ～2017年4月13日	2017年4月14日 ～2017年5月13日	2017年5月14日 ～2017年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	1.13	1.13	1.16	1.14	1.17	1.16
当期の収益（円）	80	77	74	77	64	65
当期の収益以外（円）	—	2	5	2	15	14
翌期繰越分配対象額（円）	1,423	1,420	1,415	1,413	1,399	1,385

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	86.15円	77.37円	74.15円	77.43円	64.92円	65.06円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	642.49	649.81	662.43	675.19	682.97	698.54
(d) 分配準備積立金	774.74	773.67	759.07	741.33	731.31	701.62
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,503.39	1,500.87	1,495.67	1,493.96	1,479.20	1,465.23
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,423.39	1,420.87	1,415.67	1,413.96	1,399.20	1,385.23

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界経済については、依然として好調さが維持されると予想する一方で、エネルギー価格下落の影響によって主要各国のインフレ率は低下するとみています。金融政策面は、米国では、堅調な経済を背景に2017年6月の利上げが市場で見込まれています。ユーロ圏では、物価上昇圧力が弱く、金利水準は引き続き低位に抑制されるとみています。日本においては当面、金融政策の据え置きを想定しています。着実な経済成長と低金利環境を背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期 (2016.12.14～2017.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.661%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,953円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0.665	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

決算期	第 54 期 ~ 第 59 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	10,644.068	633,938	15,447.92	917,234

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

第 54 期 ~				第 59 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	15,447.92	917,234	59

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第54期~第59期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

区 分	第 54 期			第 59 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 114,953	百万円 22,120	% 19.2	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	3,867,460	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第54期~第59期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 59 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	143,710.956	8,502,371	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第53期末		第 59 期 末	
	□ 数	千□	□ 数	千□ 評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド		千円 399		千円 399 400

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月13日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 8,502,371	% 97.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.0
コール・ローン等、その他	208,870	2.4
投資信託財産総額	8,711,641	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年1月13日)、(2017年2月13日)、(2017年3月13日)、(2017年4月13日)、(2017年5月15日)、(2017年6月13日)現在

項 目	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末
(A) 資産	9,381,712,903円	9,314,790,053円	9,105,928,785円	9,208,759,441円	8,625,376,681円	8,711,641,741円
コール・ローン等	238,217,319	261,220,810	178,596,335	270,752,557	261,076,489	208,870,034
投資信託受益証券(評価額)	9,143,095,065	9,053,168,724	8,926,931,971	8,937,606,405	8,363,899,753	8,502,371,308
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,519	400,519	400,479	400,479	400,439	400,399
(B) 負債	131,636,345	120,695,240	137,245,982	124,201,066	113,786,799	127,232,432
未払収益分配金	105,403,925	105,172,266	105,344,111	104,540,539	100,523,411	101,039,079
未払解約金	15,770,403	4,955,771	22,318,518	9,168,230	2,682,847	16,774,748
未払信託報酬	10,398,623	10,440,162	9,399,016	10,244,846	10,271,034	9,053,903
その他未払費用	63,394	127,041	184,337	247,451	309,507	364,702
(C) 純資産総額(A-B)	9,250,076,558	9,194,094,813	8,968,682,803	9,084,558,375	8,511,589,882	8,584,409,309
元本	13,175,490,676	13,146,533,308	13,168,013,909	13,067,567,495	12,565,426,436	12,629,884,959
次期繰越損益金	△ 3,925,414,118	△ 3,952,438,495	△ 4,199,331,106	△ 3,983,009,120	△ 4,053,836,554	△ 4,045,475,650
(D) 受益権総口数	13,175,490,676□	13,146,533,308□	13,168,013,909□	13,067,567,495□	12,565,426,436□	12,629,884,959□
1万口当り基準価額(C/D)	7,021円	6,994円	6,811円	6,952円	6,774円	6,797円

* 第53期末における元本額は13,101,329,326円、当作成期間(第54期~第59期)中における追加設定元本額は1,224,921,612円、同解約元本額は1,696,365,979円です。

* 第59期末の計算口数当りの純資産額は6,797円です。

* 第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,045,475,650円です。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

■損益の状況

第54期 自2016年12月14日 至2017年1月13日 第57期 自2017年3月14日 至2017年4月13日
 第55期 自2017年1月14日 至2017年2月13日 第58期 自2017年4月14日 至2017年5月15日
 第56期 自2017年2月14日 至2017年3月13日 第59期 自2017年5月16日 至2017年6月13日

項 目	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
(A) 配当等収益	123,974,215円	112,231,492円	107,106,891円	104,826,502円	91,914,283円	88,001,992円
受取配当金	123,983,347	112,237,968	107,112,892	104,831,366	91,921,480	88,010,311
受取利息	18	10	9	3	40	13
支払利息	△ 9,150	△ 6,486	△ 6,010	△ 4,867	△ 7,237	△ 8,332
(B) 有価証券売買損益	△ 33,328,525	△ 32,310,855	△ 233,361,142	191,952,734	△ 204,589,751	49,729,109
売買益	1,203,279	615,759	459,565	193,882,297	2,856,924	49,787,244
売買損	△ 34,531,804	△ 32,926,614	△ 233,820,707	△ 1,929,563	△ 207,446,675	△ 58,135
(C) 信託報酬等	△ 10,462,017	△ 10,503,809	△ 9,456,312	△ 10,307,960	△ 10,334,484	△ 9,109,098
(D) 当期損益(A+B+C)	80,183,673	69,416,828	△ 135,710,563	286,471,276	△ 123,009,952	128,622,003
(E) 前期繰越損益金	△3,496,033,550	△3,481,028,996	△3,467,800,963	△3,622,417,920	△3,274,887,887	△3,444,640,735
(F) 追加信託差損益金	△ 404,160,316	△ 435,654,061	△ 490,475,469	△ 542,521,937	△ 555,415,304	△ 628,417,839
(配当等相当額)	(846,521,951)	(854,284,515)	(872,298,653)	(882,313,416)	(858,183,399)	(882,250,538)
(売買損益相当額)	(△1,250,682,267)	(△1,289,938,576)	(△1,362,774,122)	(△1,424,835,353)	(△1,413,598,703)	(△1,510,668,377)
(G) 合計(D+E+F)	△3,820,010,193	△3,847,266,229	△4,093,986,995	△3,878,468,581	△3,953,313,143	△3,944,436,571
(H) 収益分配金	△ 105,403,925	△ 105,172,266	△ 105,344,111	△ 104,540,539	△ 100,523,411	△ 101,039,079
次期繰越損益金(G+H)	△3,925,414,118	△3,952,438,495	△4,199,331,106	△3,983,009,120	△4,053,836,554	△4,045,475,650
追加信託差損益金	△ 404,160,316	△ 435,654,061	△ 490,475,469	△ 542,521,937	△ 555,415,304	△ 628,417,839
(配当等相当額)	(846,521,951)	(854,284,515)	(872,298,653)	(882,313,416)	(858,183,399)	(882,250,538)
(売買損益相当額)	(△1,250,682,267)	(△1,289,938,576)	(△1,362,774,122)	(△1,424,835,353)	(△1,413,598,703)	(△1,510,668,377)
分配準備積立金	1,028,871,014	1,013,673,176	991,860,699	965,389,803	899,979,531	867,287,424
繰越損益金	△4,550,124,816	△4,530,457,610	△4,700,716,336	△4,405,876,986	△4,398,400,781	△4,284,345,235

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
(a) 経費控除後の配当等収益	113,512,183円	101,727,668円	97,650,564円	101,185,716円	81,579,778円	82,182,173円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	846,521,951	854,284,515	872,298,653	882,313,416	858,183,399	882,250,538
(d) 分配準備積立金	1,020,762,756	1,017,117,774	999,554,246	968,744,626	918,923,164	886,144,330
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,980,796,890	1,973,129,957	1,969,503,463	1,952,243,758	1,858,686,341	1,850,577,041
(f) 分配金	105,403,925	105,172,266	105,344,111	104,540,539	100,523,411	101,039,079
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,875,392,965	1,867,957,691	1,864,159,352	1,847,703,219	1,758,162,930	1,749,537,962
(h) 受益権総口数	13,175,490,676□	13,146,533,308□	13,168,013,909□	13,067,567,495□	12,565,426,436□	12,629,884,959□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
1 万口当り分配金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,021円)	(6,994円)	(6,811円)	(6,952円)	(6,774円)	(6,797円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国リート指数 (円建て)		公社債 組入比率	投資信託 資産比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込	み 期 騰 落	中 率	(参考指数)			
30期末(2015年1月13日)	円 13,012	円 150	% 1.2		22,180	% 6.0	% 98.9	百万円 7,542
31期末(2015年2月13日)	12,844	150	△ 0.1		22,409	1.0	99.6	7,777
32期末(2015年3月13日)	12,584	150	△ 0.9		21,971	△ 2.0	99.1	7,628
33期末(2015年4月13日)	12,481	150	0.4		22,247	1.3	98.5	7,709
34期末(2015年5月13日)	11,990	150	△ 2.7		21,579	△ 3.0	98.8	7,576
35期末(2015年6月15日)	11,913	150	0.6		21,617	0.2	98.8	7,197
36期末(2015年7月13日)	11,725	150	△ 0.3		21,474	△ 0.7	98.9	7,079
37期末(2015年8月13日)	11,786	150	1.8		22,111	3.0	99.0	7,050
38期末(2015年9月14日)	10,794	150	△ 7.1		20,106	△ 9.1	98.1	6,183
39期末(2015年10月13日)	11,169	150	4.9		21,528	7.1	98.9	6,413
40期末(2015年11月13日)	11,082	150	0.6		21,467	△ 0.3	98.9	6,457
41期末(2015年12月14日)	10,837	150	△ 0.9		21,225	△ 1.1	98.7	6,430
42期末(2016年1月13日)	10,412	150	△ 2.5		20,558	△ 3.1	98.7	6,212
43期末(2016年2月15日)	9,617	150	△ 6.2		18,900	△ 8.1	99.0	5,647
44期末(2016年3月14日)	10,215	150	7.8		21,178	12.1	98.9	5,908
45期末(2016年4月13日)	9,885	150	△ 1.8		21,076	△ 0.5	98.8	5,641
46期末(2016年5月13日)	9,815	150	0.8		21,420	1.6	99.4	5,509
47期末(2016年6月13日)	9,568	150	△ 1.0		21,051	△ 1.7	98.2	5,336
48期末(2016年7月13日)	9,398	150	△ 0.2		21,677	3.0	98.5	5,116
49期末(2016年8月15日)	8,996	150	△ 2.7		21,089	△ 2.7	98.7	4,936
50期末(2016年9月13日)	8,716	150	△ 1.4		20,576	△ 2.4	98.3	4,907
51期末(2016年10月13日)	8,500	150	△ 0.8		20,057	△ 2.5	98.7	4,884
52期末(2016年11月14日)	8,087	150	△ 3.1		19,537	△ 2.6	98.6	4,682
53期末(2016年12月13日)	8,895	150	11.8		22,129	13.3	98.7	5,108
54期末(2017年1月13日)	8,738	150	△ 0.1		22,145	0.1	97.8	5,079
55期末(2017年2月13日)	8,665	150	0.9		22,327	0.8	97.9	5,166
56期末(2017年3月13日)	8,469	150	△ 0.5		21,816	△ 2.3	98.0	5,100
57期末(2017年4月13日)	8,255	150	△ 0.8		22,005	0.9	97.9	5,171
58期末(2017年5月15日)	8,252	150	1.8		22,179	0.8	98.2	5,204
59期末(2017年6月13日)	8,028	150	△ 0.9		22,189	0.0	99.0	5,021

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S&P先進国リート指数(円建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S&P先進国リート指数(円建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

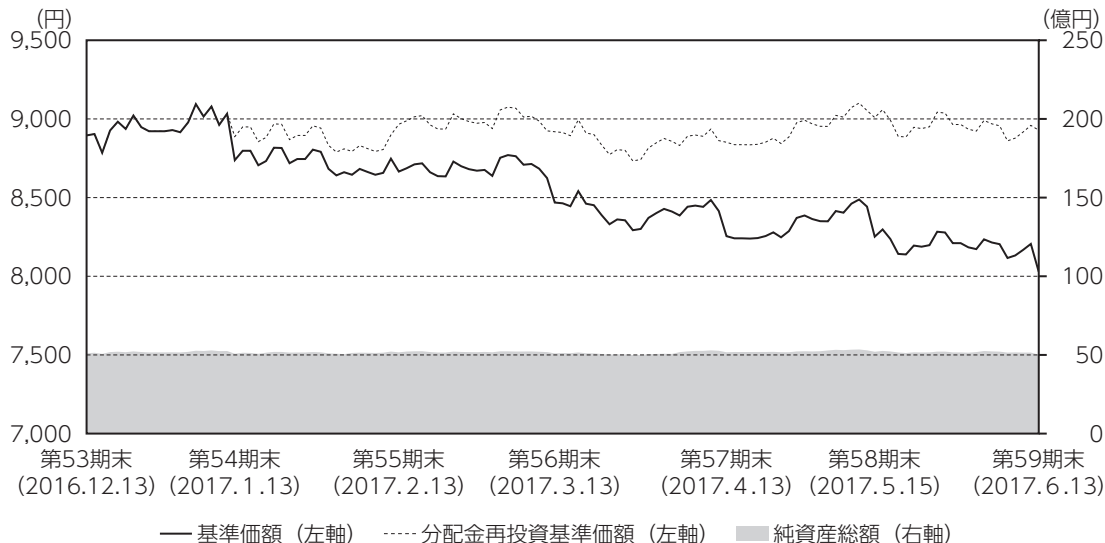
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第54期首：8,895円

第59期末：8,028円（既払分配金900円）

騰落率：0.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）（以下「リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせさせたカバードコール戦略を構築した結果、為替相場において円高が進んだことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、小幅に上昇しました。オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 先進国リート指数 (円 建 (参考指数))		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第54期	(期首) 2016年12月13日	円 8,895	% -	22,129	% -	% 0.0	% 98.7
	12月末	8,915	0.2	22,260	0.6	-	98.4
	(期末) 2017年 1 月13日	8,888	△0.1	22,145	0.1	0.0	97.8
第55期	(期首) 2017年 1 月13日	8,738	-	22,145	-	0.0	97.8
	1 月末	8,683	△0.6	21,872	△1.2	0.0	98.3
	(期末) 2017年 2 月13日	8,815	0.9	22,327	0.8	0.0	97.9
第56期	(期首) 2017年 2 月13日	8,665	-	22,327	-	0.0	97.9
	2 月末	8,676	0.1	22,522	0.9	0.0	97.5
	(期末) 2017年 3 月13日	8,619	△0.5	21,816	△2.3	0.0	98.0
第57期	(期首) 2017年 3 月13日	8,469	-	21,816	-	0.0	98.0
	3 月末	8,402	△0.8	21,802	△0.1	-	98.5
	(期末) 2017年 4 月13日	8,405	△0.8	22,005	0.9	0.0	97.9
第58期	(期首) 2017年 4 月13日	8,255	-	22,005	-	0.0	97.9
	4 月末	8,364	1.3	22,214	1.0	0.0	99.0
	(期末) 2017年 5 月15日	8,402	1.8	22,179	0.8	0.0	98.2
第59期	(期首) 2017年 5 月15日	8,252	-	22,179	-	0.0	98.2
	5 月末	8,184	△0.8	21,951	△1.0	0.0	99.1
	(期末) 2017年 6 月13日	8,178	△0.9	22,189	0.0	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016.12.14~2017.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。当作成期間の前半は、良好な米国経済指標や緩和的な金融政策の恩恵などが好材料となり、リート市況は上昇基調で推移しました。当作成期間の中ごろは、トランプ政権による政策への懸念や欧州での政治リスクの高まりなどから上値が重い展開になりましたが、後半に入ると、米国で債券利回りが低下したことなどが支援材料となり、再び上昇に転じました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、香港 (15.8%)、シンガポール (12.3%)、英国 (10.3%) などが上位だった一方で、日本 (△1.0%) などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、特殊用途施設、産業施設、ヘルスケアや住宅などが堅調だった一方で、商業施設、貸倉庫などは低調でした。

■為替相場

当ファンドが組み入れている先進国リーートの対象通貨の為替相場は、当作成期間で全体としては対円で下落しました。第54期首は、FOMC (米国連邦公開市場委員会) において政策金利の見通しが引き上げられたことなどをを受けて、米ドルをはじめとした通貨は円に対して上昇して始まりました。2017年1月から第59期末にかけては、米国の貿易赤字解消を積極的にめざすトランプ大統領の姿勢から米ドル高への懸念が強まったことや、米国議会でのオバマケア (医療保険制度改革) の代替法案の採決を前にしてトランプ政権の政策実行能力への期待感が後退したことなどをを受けて、米ドルなどの対円レートは下落基調で推移しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (ノンヘッジクラス)

米国では新政権による景気刺激策への期待に市場の関心が集まり、米国金利が大幅に上昇しています。一方で、各国の国債利回りと比較してリーートの配当利回りは依然として魅力的であり、金利高が当面のリートに与えるネガティブな影響については限定的なものになるとみています。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や、ユーロ圏の経済の下振れリスクなどを勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016.12.14~2017.6.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別でみると、堅調なファンダメンタルズおよび魅力的なバリュエーションから産業施設やオフィスをオーバーウエートとしました。国別で見ると、シンガポール、オーストラリア、カナダをオーバーウエートで推移させましたが、日本、フランスをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第54期首は92.2%、第59期末は90.2%でした。

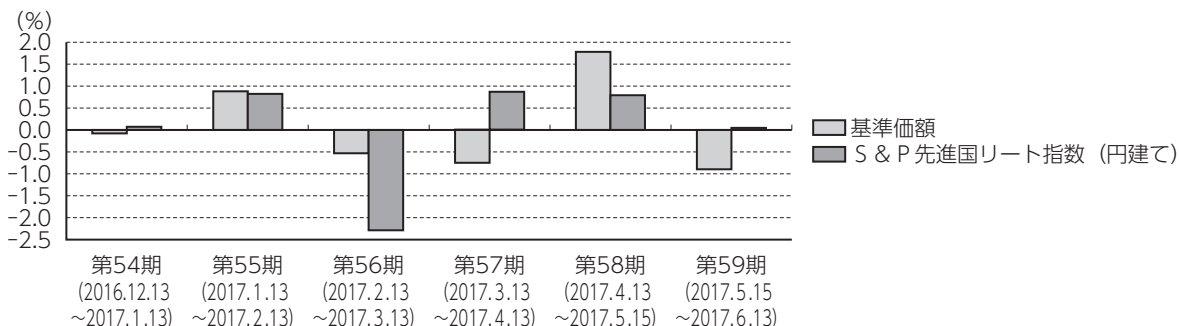
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第54期から第59期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ150円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年12月14日 ~2017年1月13日	2017年1月14日 ~2017年2月13日	2017年2月14日 ~2017年3月13日	2017年3月14日 ~2017年4月13日	2017年4月14日 ~2017年5月15日	2017年5月16日 ~2017年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	150	150	150	150	150	150
対基準価額比率（%）	1.69	1.70	1.74	1.78	1.79	1.83
当期の収益（円）	102	100	95	90	87	78
当期の収益以外（円）	47	49	54	59	62	71
翌期繰越分配対象額（円）	2,621	2,575	2,522	2,467	2,406	2,337

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
(a) 経費控除後の配当等収益	102.38円	100.93円	95.64円	90.65円	87.33円	78.93円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,418.81	2,430.38	2,435.40	2,443.43	2,445.98	2,408.21
(d) 分配準備積立金	250.64	194.20	141.43	83.03	22.97	0.00
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,771.84	2,725.53	2,672.47	2,617.11	2,556.29	2,487.14
(f) 分配金	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,621.84	2,575.53	2,522.47	2,467.11	2,406.29	2,337.14

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

世界経済については、依然として好調さが維持されると予想する一方で、エネルギー価格下落の影響によって主要各国のインフレ率は低下するとみています。金融政策面は、米国では、堅調な経済を背景に2017年6月の利上げが市場で見込まれています。ユーロ圏では、物価上昇圧力が弱く、金利水準は引き続き低位に抑制されるとみています。日本においては当面、金融政策の据え置きを想定しています。着実な経済成長と低金利環境を背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第54期～第59期 (2016.12.14～2017.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.662%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,547円です。
（投 信 会 社）	(18)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(37)	(0.431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.665	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

決算期	第 54 期 ~ 第 59 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	9,402.996	804,707	6,564.001	558,317

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

第 54 期				~	第 59 期			
買 付					売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価		銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	5,010.546	430,000	85		GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	6,564.001	558,317	85

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第54期~第59期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

区 分	第 54 期			第 59 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 114,953	百万円 22,120	% 19.2	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	3,867,460	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間中 (第54期~第59期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 59 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	59,826.209	4,969,523	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第53期末		第 59 期 末	
	□ 数	千口	□ 数	千口
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	千口	99	千口
				100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月13日現在

項 目	第 59 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,969,523	% 95.6
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	229,152	4.4
投資信託財産総額	5,198,776	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年1月13日)、(2017年2月13日)、(2017年3月13日)、(2017年4月13日)、(2017年5月15日)、(2017年6月13日)現在

項 目	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末	第 58 期 末	第 59 期 末
(A) 資産	5,212,783,918円	5,262,019,129円	5,196,340,212円	5,271,784,035円	5,334,649,562円	5,198,776,857円
コール・ローン等	246,795,964	203,614,729	200,413,782	208,597,952	223,113,346	229,152,852
投資信託受益証券(評価額)	4,965,887,824	5,058,304,270	4,995,826,310	5,063,085,963	5,111,436,106	4,969,523,905
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,130	100,130	100,120	100,120	100,110	100,100
(B) 負債	132,831,099	95,319,053	96,000,000	99,886,286	130,011,716	177,279,838
未払収益分配金	87,204,585	89,442,593	90,338,790	93,972,243	94,601,973	93,823,547
未払解約金	39,733,204	-	260,730	-	29,129,116	77,775,663
未払信託報酬	5,857,606	5,805,370	5,297,102	5,775,112	6,104,779	5,471,432
その他未払費用	35,704	71,090	103,378	138,931	175,848	209,196
(C) 純資産総額(A-B)	5,079,952,819	5,166,700,076	5,100,340,212	5,171,897,749	5,204,637,846	5,021,497,019
元本	5,813,639,023	5,962,839,581	6,022,586,056	6,264,816,244	6,306,798,229	6,254,903,140
次期繰越損益金	△ 733,686,204	△ 796,139,505	△ 922,245,844	△ 1,092,918,495	△ 1,102,160,383	△ 1,233,406,121
(D) 受益権総口数	5,813,639,023口	5,962,839,581口	6,022,586,056口	6,264,816,244口	6,306,798,229口	6,254,903,140口
1万口当り基準価額(C/D)	8,738円	8,665円	8,469円	8,255円	8,252円	8,028円

* 第53期末における元本額は5,743,600,848円、当作成期間(第54期~第59期)中における追加設定元本額は1,268,547,920円、同解約元本額は757,245,628円です。

* 第59期末の計算口数当りの純資産額は8,028円です。

* 第59期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,233,406,121円です。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

■ 損益の状況

第54期 自2016年12月14日 至2017年1月13日 第57期 自2017年3月14日 至2017年4月13日
 第55期 自2017年1月14日 至2017年2月13日 第58期 自2017年4月14日 至2017年5月15日
 第56期 自2017年2月14日 至2017年3月13日 第59期 自2017年5月16日 至2017年6月13日

項 目	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
(A) 配当等収益	65,418,694円	66,028,965円	62,931,135円	62,601,831円	58,795,184円	54,875,579円
受取配当金	65,423,408	66,035,098	62,934,582	62,606,931	58,801,619	54,880,795
受取利息	6	11	6	4	25	13
支払利息	△ 4,720	△ 6,144	△ 3,453	△ 5,104	△ 6,460	△ 5,229
(B) 有価証券売買損益	△ 64,332,256	△ 13,138,152	△ 85,890,957	△ 95,209,404	△ 38,396,721	△ 94,936,449
売買益	318,029	1,377,065	205,530	431,120	38,730,329	3,106,994
売買損	△ 64,650,285	△ 14,515,217	△ 86,096,487	△ 95,640,524	△ 333,608	△ 98,043,443
(C) 信託報酬等	△ 5,893,310	△ 5,840,756	△ 5,329,390	△ 5,810,665	△ 6,142,568	△ 5,504,780
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 4,806,872	△ 47,050,057	△ 28,289,212	△ 38,418,238	△ 91,049,337	△ 45,565,650
(E) 前期繰越損益金	△ 1,289,608,311	△ 1,355,442,013	△ 1,375,745,214	△ 1,482,259,443	△ 1,577,056,892	△ 1,492,285,389
(F) 追加信託差損益金	647,933,564	601,695,044	572,127,372	521,731,429	478,449,145	398,268,465
(配当等相当額)	(1,406,210,461)	(1,449,202,286)	(1,466,740,889)	(1,530,767,843)	(1,542,632,189)	(1,506,314,468)
(売買損益相当額)	(△ 758,276,897)	(△ 847,507,242)	(△ 894,613,517)	(△ 1,009,036,414)	(△ 1,064,183,044)	(△ 1,108,046,003)
(G) 合計(D+E+F)	△ 646,481,619	△ 706,696,912	△ 831,907,054	△ 998,946,252	△ 1,007,558,410	△ 1,139,582,574
(H) 収益分配金	△ 87,204,585	△ 89,442,593	△ 90,338,790	△ 93,972,243	△ 94,601,973	△ 93,823,547
次期繰越損益金(G+H)	△ 733,686,204	△ 796,139,505	△ 922,245,844	△ 1,092,918,495	△ 1,102,160,383	△ 1,233,406,121
追加信託差損益金	647,933,564	601,695,044	572,127,372	521,731,429	453,417,046	353,815,717
(配当等相当額)	(1,406,210,461)	(1,449,202,286)	(1,466,740,889)	(1,530,767,843)	(1,517,600,090)	(1,461,861,720)
(売買損益相当額)	(△ 758,276,897)	(△ 847,507,242)	(△ 894,613,517)	(△ 1,009,036,414)	(△ 1,064,183,044)	(△ 1,108,046,003)
分配準備積立金	118,037,496	86,546,636	52,441,932	14,835,745	-	-
繰越損益金	△ 1,499,657,264	△ 1,484,381,185	△ 1,546,815,148	△ 1,629,485,669	△ 1,555,577,429	△ 1,587,221,838

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
(a) 経費控除後の配当等収益	59,525,382円	60,188,207円	57,601,743円	56,791,164円	55,079,541円	49,370,799円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,406,210,461	1,449,202,286	1,466,740,889	1,530,767,843	1,542,632,189	1,506,314,468
(d) 分配準備積立金	145,716,699	115,801,022	85,178,979	52,016,824	14,490,333	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,611,452,542	1,625,191,515	1,609,521,611	1,639,575,831	1,612,202,063	1,555,685,267
(f) 分配金	87,204,585	89,442,593	90,338,790	93,972,243	94,601,973	93,823,547
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,524,247,957	1,535,748,922	1,519,182,821	1,545,603,588	1,517,600,090	1,461,861,720
(h) 受益権総口数	5,813,639,023口	5,962,839,581口	6,022,586,056口	6,264,816,244口	6,306,798,229口	6,254,903,140口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期	第 59 期
1 万口当り分配金	150円	150円	150円	150円	150円	150円
(単 価)	(8,738円)	(8,665円)	(8,469円)	(8,255円)	(8,252円)	(8,028円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2017年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2016年2月29日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資、公正価値（取得原価： 45,096,414,834円）	30,696,132,564
デリバティブ金融商品、公正価値	616,731,457
未収利息	5,935,100
資産計	<u><u>31,318,799,121</u></u>
負債	
デリバティブ金融商品、公正価値	429,758,114
未払報酬代理店報酬	5,935,100
負債計	<u><u>435,693,214</u></u>
償還可能受益証券保有者帰属純資産	<u><u>30,883,105,907</u></u>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	5,780,731,398
円ヘッジクラス受益証券	13,300,642,067
通貨セレクトクラス受益証券	11,705,563,586
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	51,712,459
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	44,456,397
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	62,003,889.45
円ヘッジクラス受益証券	201,490,403.05
通貨セレクトクラス受益証券	225,340,586.69
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	662,988.27
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	538,075.32
受益証券一口当り純資産価値：	
ノンヘッジクラス受益証券	93.231
円ヘッジクラス受益証券	66.011
通貨セレクトクラス受益証券	51.946
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	77.999
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	82.621

包括利益計算書

2016年2月29日に終了した年度

(円)

手数料収入	7,844,608,858
担保付スワップ投資純損失	(12,976,404,884)
デリバティブ純利益	457,026,244
投資純損失	<u>(4,674,769,782)</u>
営業経費	138,101,114
営業経費計	<u>138,101,114</u>
金融費用支払前営業利益	<u>(4,812,870,896)</u>
償還可能受益証券保有者への分配	<u>(7,706,507,744)</u>
分配金支払後の償還可能受益証券保有者帰属純資産変動	<u>(12,519,378,640)</u>

デリバティブ金融商品（為替先渡契約）

満期日	契約数	公正価値 (円)
2016年3月10日	18	113,553,398
2016年3月24日	44	73,419,945
公正価値		<u>186,973,343</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としての「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第59期の決算日（2017年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を27ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月14日から2017年6月13日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年6月13日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（29,736,055千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2017年6月13日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 650,000	千円 650,005	% 2.2	% -	% -	% -	% -	% 2.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年6月13日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	671	国庫短期証券	% -	千円 650,000	千円 650,005	2017/06/19

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第7期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第7期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

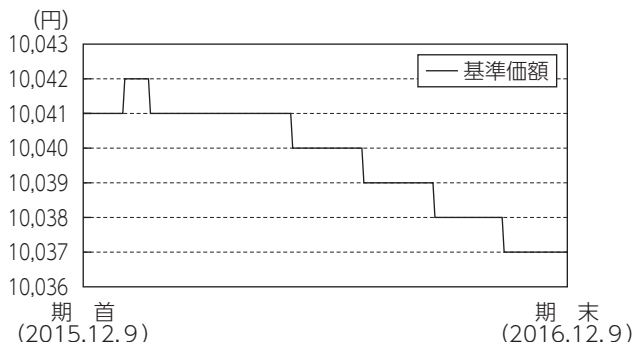
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率 %
		%	%	
(期首)2015年12月9日	10,041	-	-	51.6
12月末	10,041	0.0	0.0	51.7
2016年1月末	10,042	0.0	0.0	90.7
2月末	10,041	0.0	0.0	51.1
3月末	10,041	0.0	0.0	2.0
4月末	10,041	0.0	0.0	7.5
5月末	10,040	△0.0	△0.0	0.1
6月末	10,040	△0.0	△0.0	2.0
7月末	10,039	△0.0	△0.0	19.3
8月末	10,038	△0.0	△0.0	46.5
9月末	10,038	△0.0	△0.0	26.0
10月末	10,037	△0.0	△0.0	3.4
11月末	10,037	△0.0	△0.0	26.6
(期末)2016年12月9日	10,037	△0.0	△0.0	29.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,041円 期末：10,037円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円
国債証券	215,986,756	2,822,446 (233,210,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
591	国庫短期証券 2016/5/30	18,690,605	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
601	国庫短期証券 2016/7/19	18,510,383	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
613	国庫短期証券 2016/9/12	18,220,258	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
611	国庫短期証券 2016/9/5	15,210,394			
596	国庫短期証券 2016/6/20	11,560,241			
588	国庫短期証券 2016/5/16	9,500,428			
609	国庫短期証券 2016/8/22	8,580,187			
629	国庫短期証券 2016/11/28	8,570,294			
610	国庫短期証券 2016/8/29	7,920,152			
619	国庫短期証券 2016/10/11	7,720,160			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	12,370,000	12,370,239	29.1	-	-	29.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	-	7,380,000	7,380,059	2016/12/12
	634 国庫短期証券	-	2,070,000	2,070,043	2016/12/19
	635 国庫短期証券	-	2,920,000	2,920,135	2016/12/26
合計	銘柄数 金額	3銘柄	12,370,000	12,370,239	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
		%	千円	%
公社債	12,370,239	27.2		
コール・ローン等、その他	33,049,576	72.8		
投資信託財産総額	45,419,816	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	45,419,816,005円	
コール・ローン等	33,049,294,532	
公社債(評価額)	12,370,239,552	
その他未収収益	281,921	
(B) 負債	2,970,027,930	
未払金	1,470,027,930	
未払解約金	1,500,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	42,449,788,075	
元本	42,294,564,193	
次期繰越損益金	155,223,882	
(D) 受益権総口数	42,294,564,193口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,037円	

* 期首における元本額は62,535,131,959円、当期中における追加設定元本額は110,785,944,225円、同解約元本額は131,026,511,991円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクロー

ン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-49,795,838円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信 - 日経平均レバレッジ・インデックス13,026,074,887円、ダイワ上場投信 - 日経平均ダブルインバース・インデックス7,057,921,466円、ダイワ上場投信 - T O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,434,536,786円、ダイワ上場投信 - T O P I Xダブルインバース(-2倍) 指数757,087,194円、ダイワ上場投信 - 日経平均インバース・インデックス11,055,796,865円、ダイワ上場投信 - T O P I Xインバース(-1倍) 指数2,230,635,146円、ダイワ上場投信 - J P X日経400レバレッジ・インデックス901,494,652円、ダイワ上場投信 - J P X日経400インバース・インデックス4,402,808,262円、ダイワ上場投信 - J P X日経400ダブルインバース・インデックス31,802,045円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト・マネー・ポートフォリオ185,052,355円、ダイワ・ブルベア・セレクト・ドル高円安ポートフォリオ160,376,323円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ76,963,963円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレード-48,811,188円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド、マネー・ポートフォリオ395,846,364円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド、マネー・ポートフォリオ91,481,943円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイⅡ - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース1,496,804円、

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型
米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグ
ルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,210,382円
受取利息	△ 3,627,074
その他収益金	281,921
支払利息	△ 12,865,229
(B) 有価証券売買損益	△ 1,217,528
売買益	236,035
売買損	△ 1,453,563
(C) その他費用	△ 176,405
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 17,604,315
(E) 前期繰越損益金	256,659,974
(F) 解約差損益金	△525,706,324
(G) 追加信託差損益金	441,874,547
(H) 合計(D + E + F + G)	155,223,882
次期繰越損益金(H)	155,223,882

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。